



静岡県の実業状況

平成29年10月

目次

第1部 県政の運営方針

1 静岡県の概況

静岡県の経済基盤	5
世界クラスの資源・人材群	6

2 県政ビジョン

大規模地震への万全の備え	8
内陸のフロンティアを拓く取組	10
新成長産業の育成と雇用創造	11
世界に開かれた観光・通商・外交の実践	14
富士山静岡空港の利活用促進	16
スポーツの聖地づくり	17
世界クラスの資源の発信	18
人口減少社会への挑戦	19

第2部 静岡県の財政状況と起債運営

1 静岡県の財政状況

県税収入の推移	22
一般会計の歳出規模	23
健全化判断比率	24
企業会計の状況	25
外郭団体の財務状況	26
行財政改革の取組	27

2 静岡県の起債運営

県債の管理	29
発行年限の多様化	30
平成29年度発行実績・発行予定	31

第1部

県政の運営方針



世界遺産 韮山反射炉（伊豆の国市）

1

静岡県概况

- 静岡県の経済基盤
- 世界クラスの資源・人材群

静岡県の経済基盤

製造品出荷額は全国4位 1人当たり県民所得は全国3位



人口 **369万人** **全国10位**
(H28.10.1現在)



県内総生産 **15兆4,425億円** **全国10位**
(平成26年度)

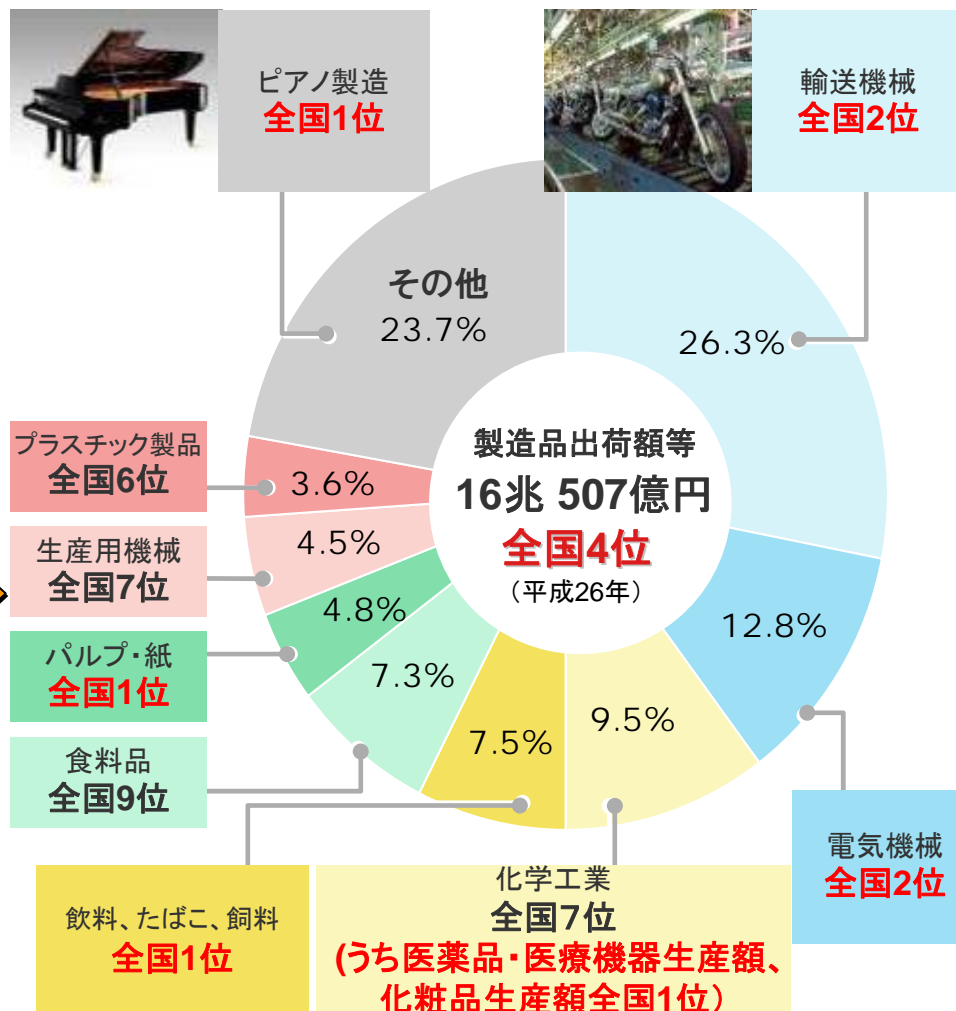


製造品出荷額等 **16兆507億円** **全国4位**
(平成26年)
1位 愛知県 2位 神奈川県 3位 大阪府



1人当たり県民所得 **322万円** **全国3位**
(平成26年度)
1位 東京都 2位 愛知県

◆バランスのとれた産業構造



世界クラスの資源・人材群

平成29年9月末現在 59件

豊かで魅力ある 自然・文化



富士山反射炉
世界文化遺産



富士山 世界文化遺産



南アルプス
ユネスコ
エコパーク



**茶草場
農法**
世界農業遺産



駿河湾
世界で最も美しい湾クラブ



**ふじのくに地球環境史
ミュージアム**

F X 国際インテリアデザイン賞
博物館展示部門 最優秀

深良用水(裾野市)
源兵衛川(三島市)
世界かんがい施設遺産

SPAC
(静岡県舞台芸術センター)
「アヴィニヨン演劇祭」(仏)
の公式プログラムに招聘

**アカオハーブ &
ローズガーデン**
優秀庭園賞

**ユネスコ創造都市
ネットワーク**
(音楽分野) 浜松市



世界的に活躍する

人

天野 浩

ノーベル物理学賞

那須田 桂

国際生物学オリンピック
金メダル

高橋 裕

日本国際賞

安藤 真野

ヨハネ・ブラム国際コンクール
ピアノ部門1位

石川 准

国際連合障害者権利委員会委員

本庶 佑

唐奨 (バクテリア医薬部門)、京都賞

太田 朋子

クラフオード賞

磯貝 明

マルクス・ガールンハリ賞、本田賞

浜松ホトニクス(株)

米国電気電子学会(IEEE)
マイルストーン

寺西 信一

エリザベス女王工学賞

水谷 隼

男子卓球で初の五輪メダリスト
(男子団体 銀メダル・男子シングルス銅メダル)

伊藤 美誠

五輪最年少メダリスト(女子団体銅メダル)
卓球ワールドカップ女子シングルス最年少優勝

平野 美宇

卓球女子ワールドカップ シングルス優勝

飯塚 翔太

トラック競技男子初の銀メダリスト
(リレージャパン五輪400mリレー 銀メダル)

河合 純一

パシフィック競泳金メダリスト
パシフィック殿堂入り

杉村 英孝

リトヴィツェ杯・パシフィック
ボッチャ混合団体銀メダリスト

山本 篤、佐藤 圭太

リトヴィツェ杯・パシフィック
陸上男子400mリレー(切断などT42-47)
銅メダリスト

佐藤 友析

リトヴィツェ杯・パシフィック
陸上男子400m、1,500m(車いすT52)銀メダリスト

若山 英史

リトヴィツェ杯・パシフィック
ウイリアム・サグビー 銅メダリスト

岡村 正弘

リトヴィツェ杯・パシフィック
マラソン(T12) 銅メダリスト

2

県政ビジョン

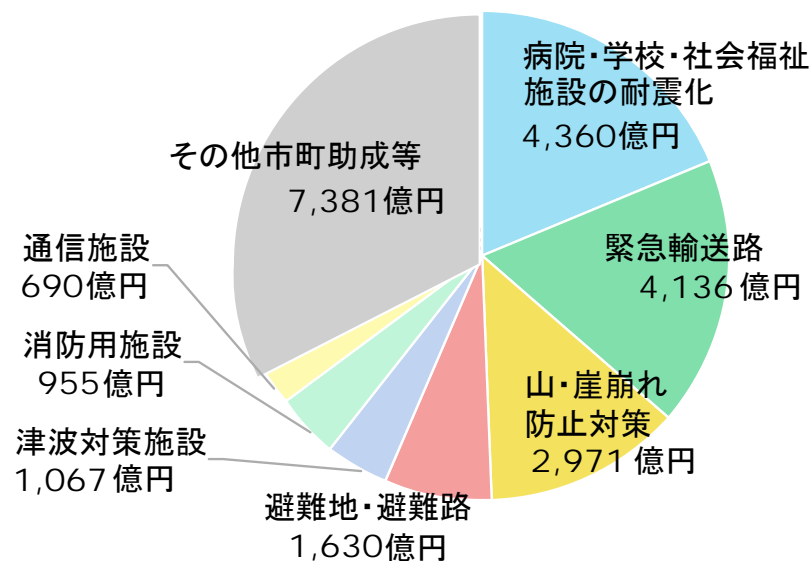
- 大規模地震への万全の備え
- 内陸のフロンティアを拓く取組
- 新成長産業の育成と雇用創造
- 世界に開かれた観光・通商・外交の実践
- 富士山静岡空港の利活用促進
- スポーツの聖地づくり
- 世界クラスの資源の発信
- 人口減少社会への挑戦

大規模地震への万全の備え①

全国トップレベルの地震・津波対策

◆ これまでの実績

昭和54年度～平成28年度
2兆3,191億円



◆ 全国トップレベルの対策

社会福祉施設等の
耐震化率

93.5%
(全国**1**位)
26年10月

震災総合訓練の
県民参加率

25.1%
(全国**1**位)
27年度

木造住宅耐震
補強工事への助成

19,556戸
(全国**1**位)
27年度末

大規模地震への万全の備え②

地震・津波対策アクションプログラム2013の着実な推進

目標

想定される犠牲者を、10年間（H25～34年度）で8割減少

【事業費総額】約4,300億円 【H28年度末までの進捗率】 28.5%

◆「静岡方式」による津波対策

【浜松市沿岸域】（H29.3月末現在）

- 総事業費：315億円(寄付金)
高さ：13m 全長17.5km
うち 竣工延長：6.4km
着手済延長：14.9km



遠州灘に沿って整備される防潮堤（浜松市）

◆緊急地震・津波対策等交付金

- 市町が緊急に取り組む地震・津波対策(津波避難施設の整備、天井落下防止対策等)を支援
- H28～30年度の3年度で約94億円を交付予定



津波避難タワー（焼津市）

◆「浜岡原子力発電所」の対策

- 環境放射線監視機能とオフサイトセンター機能を有する「原子力防災センター」を設置（H28.3）



原子力防災センター（牧之原市）

内陸のフロンティアを拓く取組

内陸のフロンティアを拓く取組～防災・減災と地域成長の両立～

◆「内陸のフロンティア」の具体的展開



福田漁港
磐田市渚の交流館と
津波避難タワー
(磐田市)



「家・庭一体の住まいづくり」の
住宅団地(小山町)



平成27年度 総合特別区域
内閣府の評価 全国第1位！！

【基本目標】

- 防災・減災機能の充実・強化
- 地域資源を活用した新しい産業の創出・集積
- 新しいライフスタイルの実現の場の創出
- 暮らしを支える基盤の整備

<基本戦略>

- 沿岸・都市部の
リノベーション
- 内陸・高台部の
イノベーション
- 多層的な地域連携軸の形成

新成長産業の育成と雇用創造①

県内経済の再生、成長に向けて官民連携で4つの成長戦略を推進

静岡県産業成長戦略2017：4つの戦略

戦略1 企業誘致・定着の推進

戦略3 地域企業の事業活動活発化

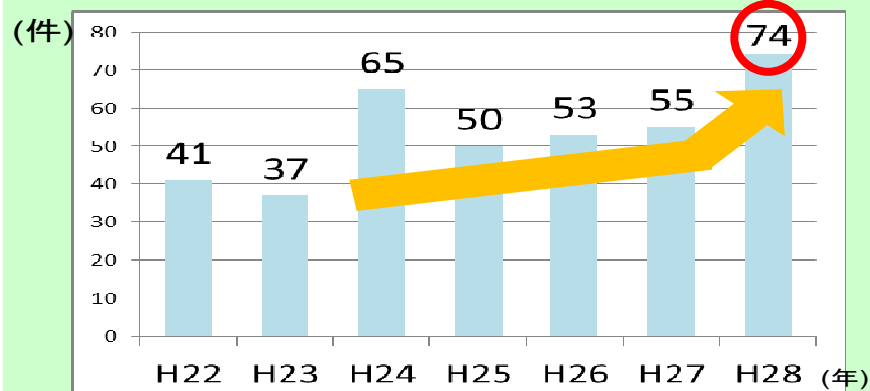
戦略2 事業用地の確保

戦略4 次世代産業の創出

本県の企業立地件数

H28件数 74件・・・全国1位

H28面積 57ha・・・全国5位



具体的な取組

富士山麓フロンティアパーク 小山の着実な整備と企業誘致

- 面積 31.4ha
7区画（予定）
- H30年秋完成
（引渡し予定）
- 分譲申込受付中



富士山麓フロンティアパーク
小山完成イメージ（小山町）

新成長産業の育成と雇用創造②

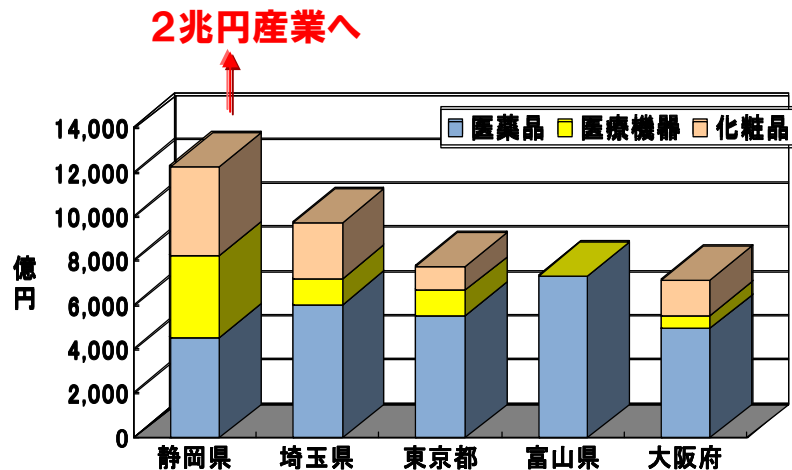
医療健康、光、CNFなどの成長産業の推進

ファルマバレープロジェクトの推進

～富士山麓に医療城下町を形成～

静岡がんセンターの開院（H14）を契機に富士山麓地域に医療健康産業を集積する県のプロジェクト

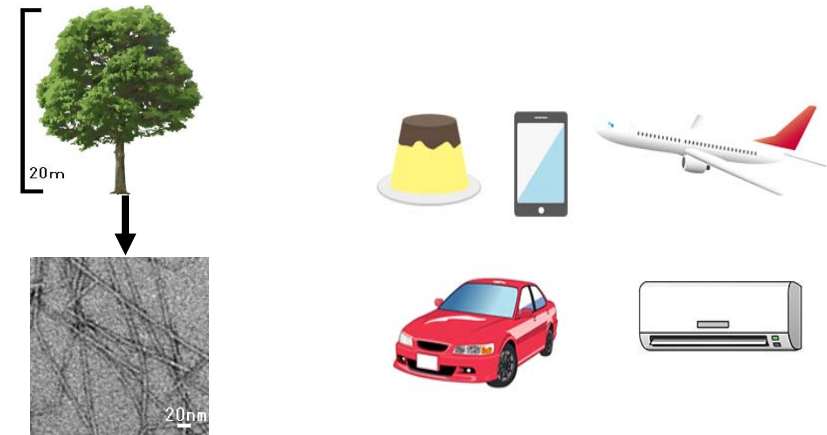
- ・ 中核支援機関となる法人(一般財団法人ふじのくに医療城下町推進機構)を設立(H29年8月1日)
企業の医療健康産業への参入や改良、販路の開拓を支援
- ・ 医薬品・医療機器・化粧品の合計生産額が6年連続日本一（H22～H27）



セルロースナノファイバー（CNF）産業の創出

～CNFの世界的な拠点を形成～

- ・ 研究開発拠点の強化
富士工業技術センターに研究機器の整備、静岡大学に寄附講座を開設
- ・ 製品化に取り組む企業の開発支援
製品化や販路開拓を支援するコーディネータの配置



植物繊維を微細化した新素材
(鋼鉄の1/5の重量で5倍以上の強度)

セルロースナノファイバーを
活用した製品

新成長産業の育成と雇用創造③

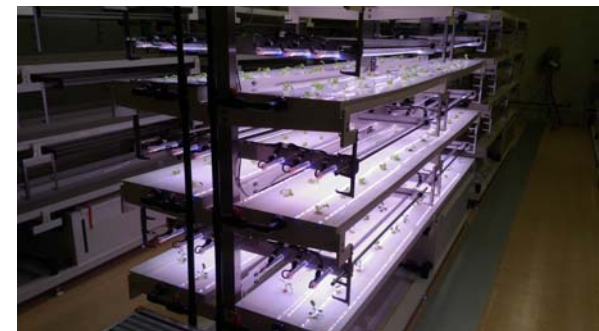
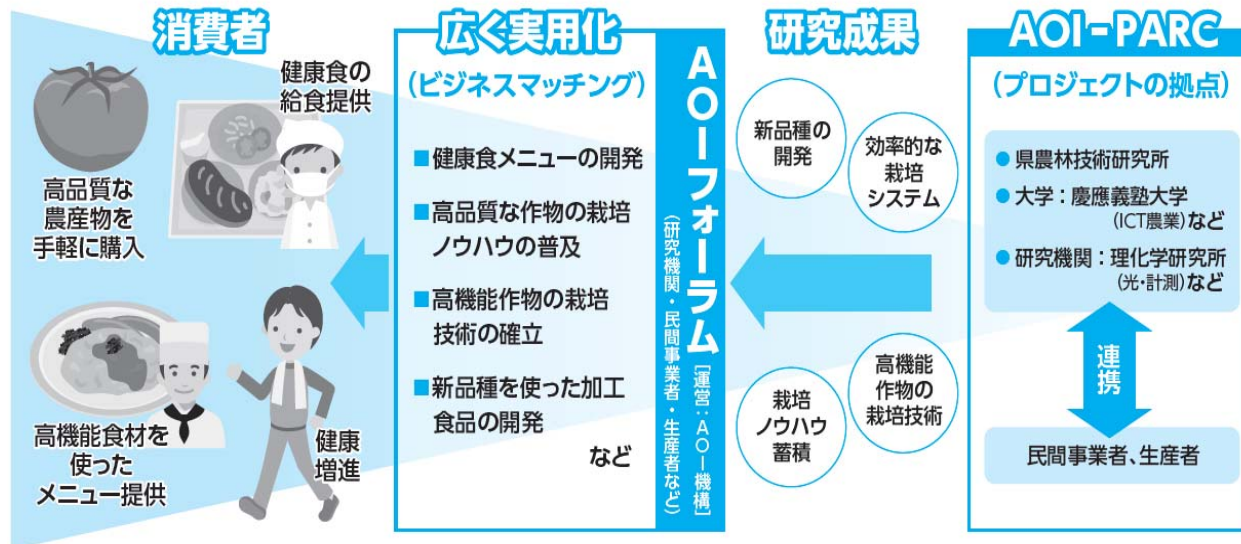
先端技術を活用した新たな農業の展開

アオイ

◆AOI-Project（先端農業プロジェクト）の推進

- ・ 慶應義塾大学、理化学研究所との共同研究
- ・ 研究機関と県内企業とのマッチング
- ・ AOI-PARC（アグリ・オープンイノベーション拠点）の整備

【H29年8月1日開所、10社入居】



AOI-PARC
東海大学旧校舎（沼津市）改修

世界に開かれた観光・通商・外交の実践①

海外需要の取り込み、県産品のブランド力強化に向けた取組の実施

海外交流の深化

- ・ 重点国、地域（中国、韓国、モンゴル、台湾、東南アジア、米国）を中心とした地域外交の推進
- ・ DMO「静岡ツーリズムビューロー」を核とした、世界から選ばれる観光地づくり



マーケティング戦略と販路拡大

- ・ 首都圏アンテナショップの設置
- ・ 海外への農林水産物の販路拡大を支援

ふじのくにマーケティング戦略強みのある9品目

- 茶
- 柑橘
- いちご
- しらす
- 木材
- わさび
- 温室メロン
- 牛肉
- ガーベラ

※赤字は海外戦略の重点品目

ブランド力の強化

- ・ 静岡茶のトップブランド戦略策定
- ・ 静岡わさびの日本農業遺産認定(H28.3)、世界農業遺産登録活動支援

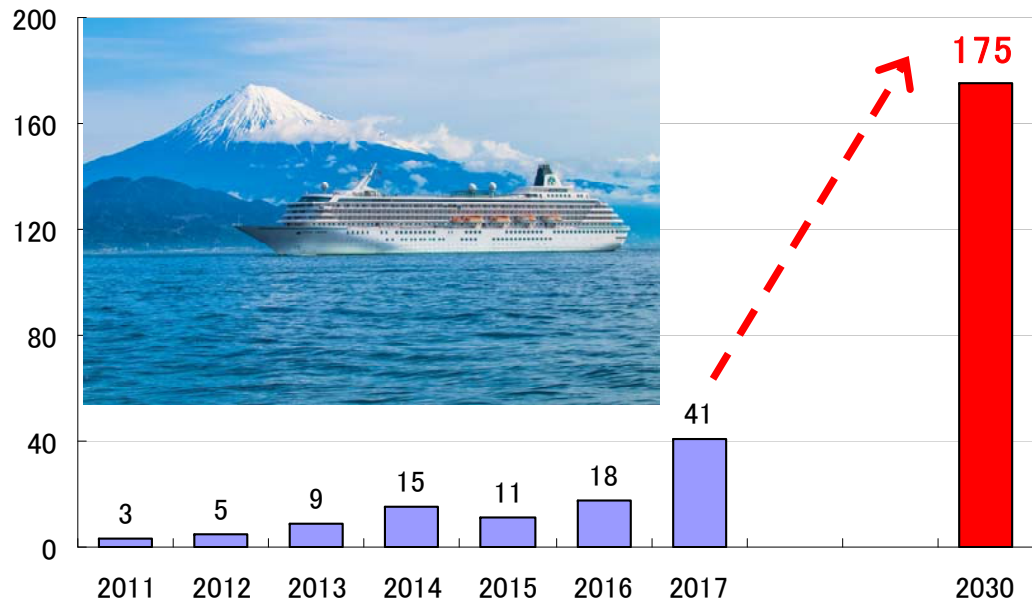


世界に開かれた観光・通商・外交の実践②

クルーズ船を活用し、交流人口を拡大

- 清水港：「官民連携による国際クルーズ拠点」選定（国土交通省）（H29.1）
「国際旅客船拠点形成港湾」指定（国土交通省）（H29.7）
- アジア最大のクルーズ船社「ゲンティン香港」と連携

清水港のクルーズ船寄港回数



※2017は予約確定分(9月末現在)

経済波及効果

560億円/年

60万人/年



富士山静岡空港の利活用促進

富士山静岡空港において路線・便数が着実に増加

◆ 外国人出入国数22万人 (H28年度)

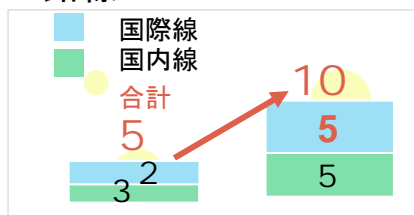
全国8位

地方管理空港トップ

①成田 ②関西 ③羽田 ④福岡 ⑤那覇 ⑥新千歳 ⑦中部

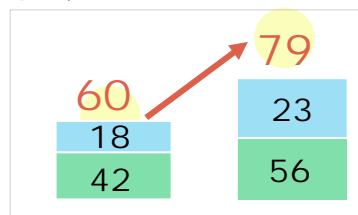
◆ 路線・便数が着実に増加

路線



21年6月 29年10月

便数/週



21年6月 29年10月

◆ 空港利用によるインバウンド効果

区分	平成27年度
県内経済波及効果	388億円
雇用創出効果	2,708人

◆ 民活化への取組

空港への公共施設等運営権制度の導入
 事業期間: 当初20年間(最長45年間)
 事業開始: 平成31年4月1日

富士山静岡空港の就航先 (H29夏ダイヤ)



スポーツの聖地づくり

スポーツを活用した交流の推進

◆ラグビーワールドカップ 2019の開催

- H31年9月20日～11月2日
- 参加チーム:20チーム
- 全国12会場で実施
- 本県会場：エコパスタジアム



◆2020東京オリンピック・ パラリンピック自転車競技の開催

- トラック・レース
会場：伊豆ベロドローム
- マウンテンバイク
会場：伊豆マウンテンバイクコース



◆サイクルスポーツの聖地 づくり

- バイシクルピットの整備
伊豆地区のコンビニ、道の駅等
- サイクルスポーツを通じた
国際交流
本県及びイタリアで開催される
自転車大会での相互交流



世界クラスの資源の発信

世界に誇れる魅力の展開と文化の醸成

◆ 富士山世界遺産センターの整備

- H29年12月23日開館予定
- 富士山に関する調査研究、包括的な保存管理

◆ ふじのくに茶の都ミュージアムの整備

- H30年3月開館予定
- 茶の産業、文化、学術の振興



人口減少社会への挑戦

少子化対策

合計特殊出生率

◆ 現状値 **1.54** → **目標値 「2」**
(H27 全国値1.46)

「ふじのくに少子化突破戦略の羅針盤」を活用して、県と市町が協力して少子化を突破

出生率への影響要因を
把握・分析
(県と市町で協力)

分析結果の「見える化」

独自の取組の加速化

◆待機児童ゼロ実現
認定こども園等の整備
支援

◆地域や職場における
子育ての支援
子育て応援組織「ふじさんっこ応援隊」の普及

◆子育て家庭の経済的負担を軽減
こども医療費助成

◆企業等と連携した結婚支援
「ふじのくに出会いサポートセンター」設置



移住・定住の促進

静岡県移住相談センター(有楽町)や静岡U・Iターン就職サポートセンターで県内への移住・就職・住まいの相談対応

移住相談件数

H27 : 3,046件 → H28 : 5,755件

県外からの移住者数

H27 : 393人 → H28 : 787人

都道府県別 移住希望地ランキング

2016年 : 3位 (1位山梨県、2位長野県)

2015年 : 4位

2014年 : 7位

(認定NPO法人ふるさと回帰支援センター調)

第2部

静岡県^の財政状況と起債運営



国宝・久能山東照宮(静岡市)

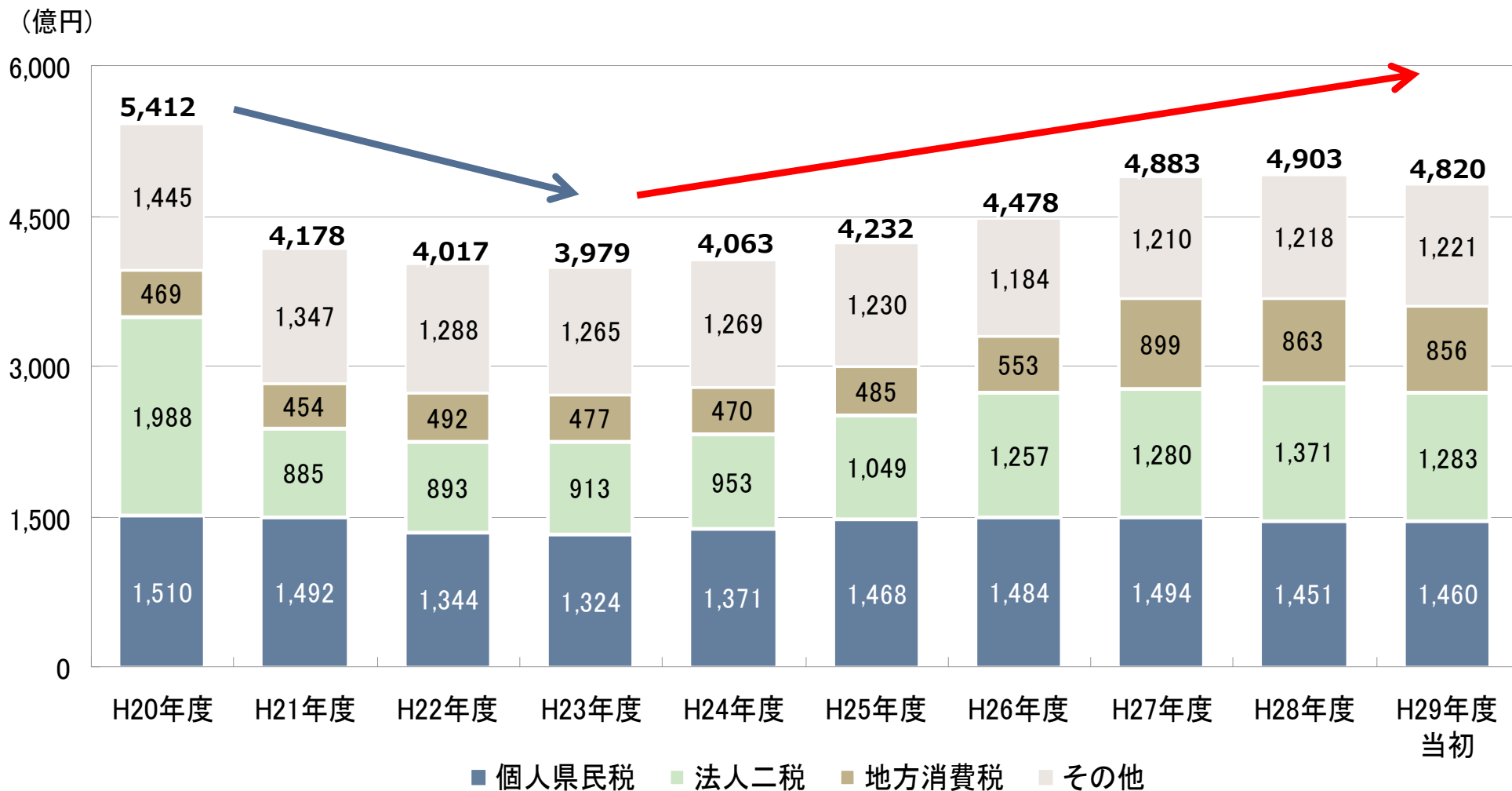
1

静岡県 の 財政状況

- 県税収入の推移
- 一般会計の歳出規模
- 健全化判断比率
- 企業会計の状況
- 外郭団体の財務状況
- 行財政改革の取組

県税収入の推移

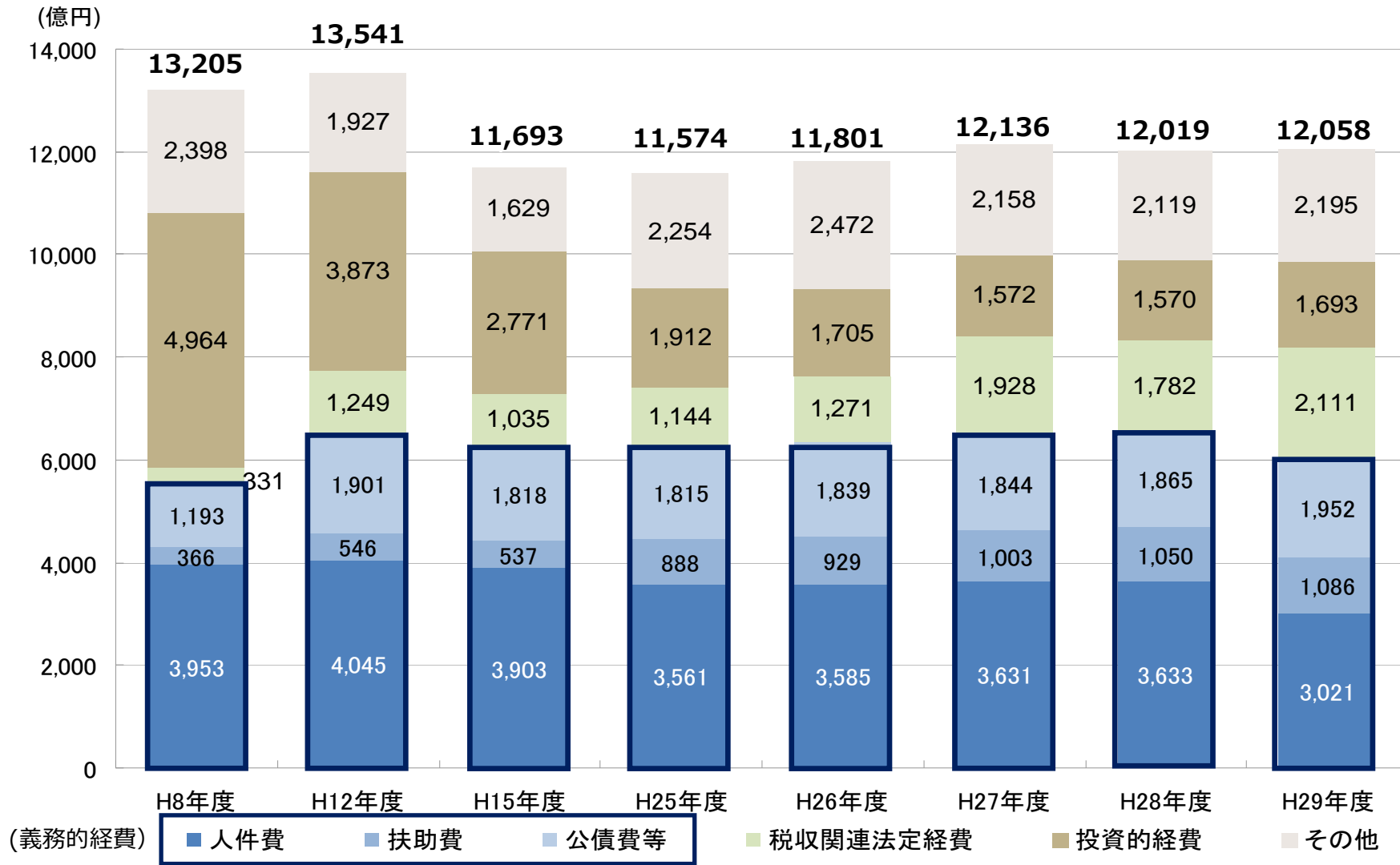
リーマンショック等による減収後は、回復基調



※H28年度までは決算額、H29年度は当初予算額

一般会計の歳出規模

義務的経費は横ばい、投資的経費はピーク時から6割減少



※H28年度まで決算額、H29年度は当初予算額

健全化判断比率

全指標で早期健全化基準を下回る 今後も健全な水準の見通し

指 標	H26年度 (決算)	H27年度 (決算)	H28年度 (決算)	H32年度 (中期試算)	国基準		県目標	
					早期健全化 基準	財政再生 基準		
健全化法による指標	実質赤字比率	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	3.75%	5.0%	-
	連結実質赤字比率	(黒字)	(黒字)	(黒字)	(黒字)	8.75%	15.0%	-
	実質公債費比率	14.5%	14.0%	13.5%	13.6%	25.0%	35.0%	18% 未満
	将来負担比率	229.8%	223.1%	228.0%	221.6%	400.0%	-	400% 未満
県独自指標	経常収支比率	91.0%	94.9%	97.6%	94.7%	-	-	90% 以下
	県債残高 (通常債) 一般会計	17,182 億円	16,598 億円	16,100 億円	14,331 億円	-	-	2兆円 程度上限

企業会計の状況

全会計で資金不足なし引き続き安定経営を目指す

(単位:億円)

区 分	28年度			財政健全化 法上の 資金剰余額	資金不足 比率	企業債 現在高	経営の状況	
	収益的 収入	収益的 支出	差引					
企 業 局	工業用 水道事業	47	43	4	95	—	94	給水収益は減少したものの、 コスト削減等により黒字確保
	水道事業	70	58	2	105	—	156	市町からの給水収益は安定的に推移し、 経営は安定
	地域振興 整備事業	1	1	0	43	—	—	平成30年度の完成を目指し、4地区 で工業用地を造成中
がんセンター 事業	331	332	△1	127	—	412	H27: 病院事業は黒字を確保したものの、 研究所事業においては赤字を計上 H28: 病院事業は前年に引続き黒字を 確保、研究所事業は赤字となったが収 支の改善が見られた	

外郭団体の財務状況

外郭団体の見直しを推進、損失補償・債務保証の合計は減少

◆ 外郭団体の整理合理化

- これまでの改革により**団体数、常勤役職員数ともに大きく減少**

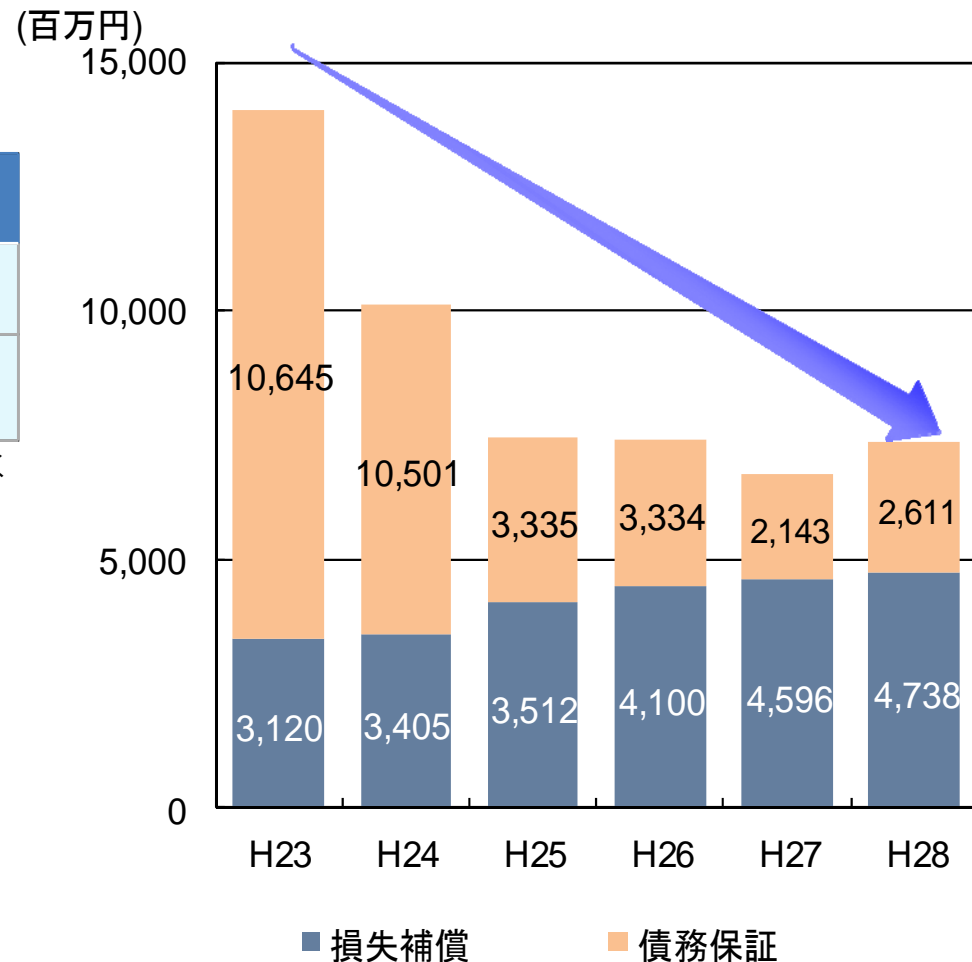
年度	H9	H17	H29	増減
団体数	38	32	23	▲16 (H29-H9)
常勤役職員数	-	703	341	▲362 (H29-H17)

※各年度4月1日時点。29年度分は会社法法人(3団体)を除く

◆ 外郭団体の財務状況

- **債務超過団体：なし**
- H28年度経常収支：黒字12団体
赤字13団体

◆ 県の損失補償・債務保証残高



行財政改革の取組

行財政改革大綱に基づき、将来にわたって安心な財政運営を堅持

◆ 行財政改革大綱（H26～H29年度）に3つの財政目標を設定

区 分	目 標	実 績
新規・拡充事業等のための財源の捻出	4年間（H26～29）で 600億円	H29：151億円（H26～29：625億円） 前回4年間（H22～25）：649億円
県が自らコントロールできる通常債の残高	上限2兆円程度	H28年度末：1兆6,100億円
プライマリーバランス	黒字の維持	H28：黒字

◆ これまでの取組成果

定員管理計画を上回る職員削減を達成（単位：人）

年度	H10～14	H15～17	H18～22	H23～27	計
計画	500	250	500	100	1,350
実績	509	287	557	99	1,452

H29.4.1現在 5,798人（H9.4.1比 ▲1,466人・▲20.2%）

未利用財産の売却促進

区 分	H22～H28
売却額	約 155 億円

補助金の継続的な見直し

区 分	H23～H28
対象事業	延べ889本
見直し効果額	約41億円

県有施設の有効活用

区 分	H24～H28
公募による自動販売機設置収入	約11億円

2

静岡県の起債運営

- 県債の管理
- 発行年限の多様化
- 平成29年度発行実績及び発行予定

県債の管理

適正な県債管理のもと高い格付を維持

◆ 減債基金の積立てルール

県債発行額の3.7%（27分の1）を3年据置後、毎年度積立

※減債基金から他会計への貸出実績なし

◆ 県債残高と基金残高の推移

- 減債基金を着実に積立て
- 通常債は減少、臨時財政対策債は国の地方財政対策により増加

◆ 本県発行体格付

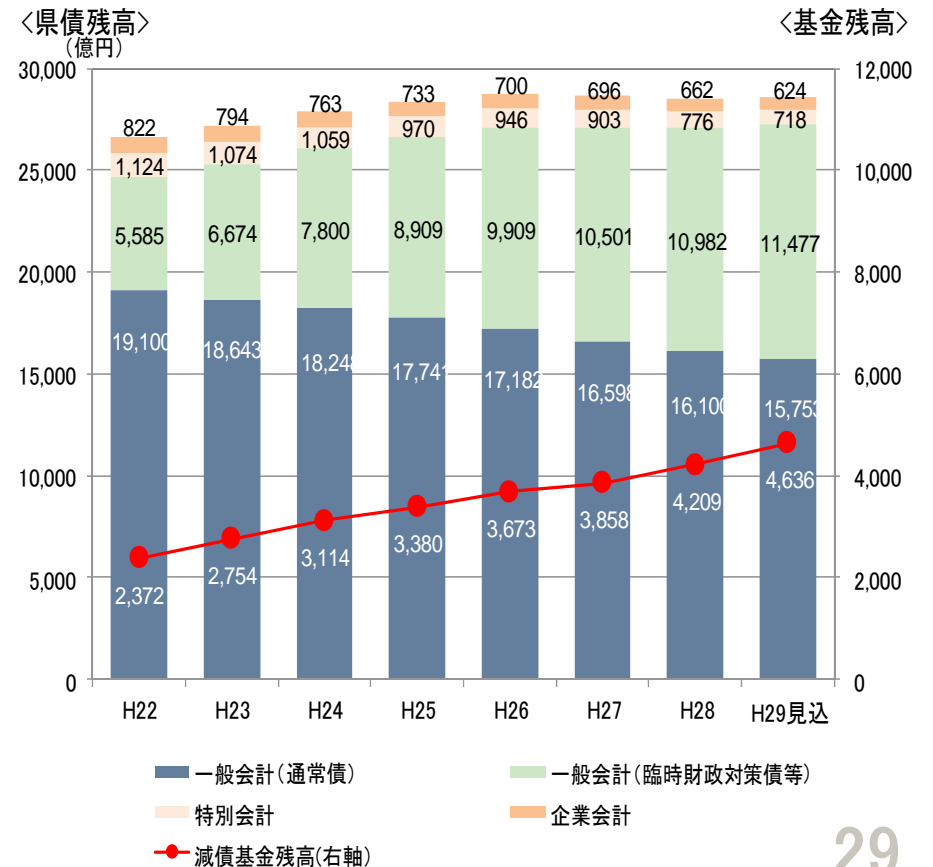
※平成29年9月末時点

【国内格付機関】 R&I	
AA+ (ネガティブ)	信用力は極めて高く、優れた要素がある
AA (ネガティブ)	
日本国、静岡県 、栃木県、埼玉県、愛知県、神戸市 宮城県、福井県、奈良県、岡山県、徳島県、佐賀県、千葉市	

【格付理由】 製造品出荷額や1人当たり県民所得は全国トップクラス。臨時財政対策債を除く県債残高の削減も進んでおり、今後も、経済活性化と財政健全化のバランスの取れた県政運営が行われるとみている。南海トラフ巨大地震発生の恐れはあるが、耐震化率など震災の備えは全国でも最も進んでいる。

【海外格付機関】 ムーディーズ	
A1 (安定的)	中級の上位で、信用リスクが低いと判断される
日本国、静岡県 、新潟県、広島県、福岡県、札幌市、横浜市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、福岡市	

【格付理由】 強固な地域経済基盤、財政パフォーマンスの向上、良好な債務構成の一方で、臨時財政対策債の増加による比較的高い負債水準も織り込んでいる。



発行年限の多様化

投資家のニーズに対応した多様な年限の市場公募債を発行

(単位：億円)

区 分		H25	H26	H27	H28	H29 ※			
						既発行額	発行予定額	計	
市場公募債	定例債	5年	300	400	400	300	500	100	600
		10年	1,000	1,300	1,200	700	500	200	700
	主幹事方式	5年	—	—	—	100	0	100	1,000
		15年	200	300	200	100	0	—	
		20年	200	100	400	300	400		
		20年 (定時償還)	100	300	100	300	400		
		30年	300	300	300	340	100		
	小 計		2,100	2,700	2,600	2,140	1,900	400	2,300
	共同発行債		600	600	300	300	60	240	300
	計 (発行額に占める割合)		2,700 (83.5%)	3,300 (89.3%)	2,900 (87.7%)	2,440 (82.2%)	1,960	640	2,600 (84.5%)
銀行等引受債・政府系資金		535	397	408	530	0	476	476	
合 計		3,235	3,697	3,308	2,970	1,960	1,116	3,076	

※ 平成29年10月16日現在

平成29年度発行実績及び発行予定

今後11月から3月に400億円発行予定

(単位：億円)

区 分			実績							予定					計
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
市場公募債	定例債	5年	100	100	—	100	—	100	100	—	—	—	—	100	600
		10年	100	100	100	100	100	—	—	100	—	—	—	100	700
	主幹事方式	5年	—	—	—	—	—	—	—	100					1,000
		15年	—	—	—	—	—	—	—	—					
		20年	—	—	200	—	—	—	200						
		20年 (定時償還)	—	200	—	—	—	—	200	—					
	30年	—	—	100	—	—	—	—	—						
	共同発行債	30	—	—	—	—	30	—			—	80	80	80	—
	計	230	400	400	200	100	330	300	280		360			2,600	

※ 平成29年10月16日現在

- ◆ 本資料における将来の見通し、予測は、静岡県として、現時点で妥当と考えられる範囲で示したものであり、確実な実現を約束するものではありません。
- ◆ また、本資料は、静岡県債の購入を御検討いただいている投資家の方々に、本県の概況と県政ビジョンについて説明することを目的としており、特定の債券の売出し、または募集を意図するものではありません。



静岡県

お問い合わせ 経営管理部 財政課
メールアドレス zaisei@pref.shizuoka.lg.jp
静岡県IRサイト <http://www.pref.shizuoka.jp/governor/ir2002/index.htm>
TEL : 054-221-2036 FAX : 054-221-2750